

1	(1) $\frac{7}{10}$	(2) $1\frac{5}{12}$	(3) $9\frac{3}{8}$
---	--------------------	---------------------	--------------------

2	(1) 152 (人)	(2) 4600 (円)	(3) (毎分) 78 (m)	(4) 600
	(5) 14.86 (cm ³)	(6) 1 : 9	(7) 180 (cm ³) ア	(7) 180 (cm ²) イ

3	(1) 200	(2) 500050
---	---------	------------

4	(1) 235200 円	(2) 320 個
---	--------------	-----------

5	(1) $1\frac{1}{4}$ cm	(2) 5 : 9	(3) $6\frac{3}{7}$ cm ²
---	-----------------------	-----------	------------------------------------

6	(1) 2.2 秒後	(2) 21.4 秒後	(3) 100 回
---	------------	-------------	-----------

7	(1) 40 cm ³	(2) $2\frac{38}{45}$ cm ³
---	------------------------	--------------------------------------

(配点)

2 ; 各 5 点 × 8
他 ; 各 4 点 × 15

5

(1) $FJ = 1 + (2 - 1) \times \frac{1}{1 + 3} = 1\frac{1}{4}$ (cm)

(2) Hから辺BCに平行な直線を引き、直線EGと交わる点をKとする。

$KH = 2 + (3 - 2) \times \frac{1}{3 + 1} = 2\frac{1}{4}$ (cm)

三角形FIJと三角形HIKは相似。

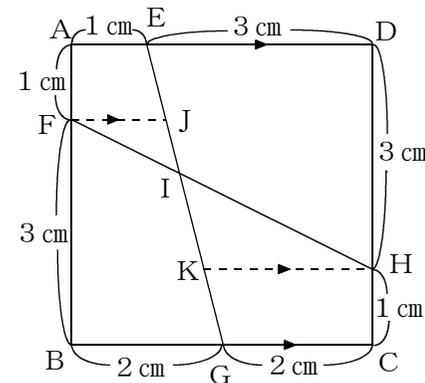
相似比 $1\frac{1}{4} : 2\frac{1}{4} = 5 : 9$

よって、 $FI : IH = 5 : 9$

(3) 三角形IKHの、底辺をKHとしたときの高さは、 $(3 - 1) \times \frac{9}{5 + 9} = 1\frac{2}{7}$ (cm)

四角形EIH Dの面積は、台形EKHDの面積から三角形IKHの面積を引く。

よって、 $(3 + 2\frac{1}{4}) \times 3 \div 2 - 2\frac{1}{4} \times 1\frac{2}{7} \div 2 = 6\frac{3}{7}$ (cm²)



6

(1) 円1個のまわりの長さは、

$3 \times 2 \times \pi = 6 \times \pi$ (cm)

アの速さは、 $9.42 = 3 \times \pi$ (cm/秒)

イの速さは、 $6.28 = 2 \times \pi$ (cm/秒)

アがVにはじめて戻ってくるのは、 $6 \times \pi \times 2 \div (3 \times \pi) = 4$ (秒後)

イがWにはじめて戻ってくるのは、 $6 \times \pi \times 2 \div (2 \times \pi) = 6$ (秒後)

$LCM(4, 6) = 12$ (秒)までを1セットとして考える。

三角形PQRが正三角形なので、 $\angle SQT = \angle UPS = \angle TRU = 60$ (度)

アとイが重なる可能性があるのは、円A上か点T。

点Tに着くのは、ア... $4 \div 2 \times \frac{1}{3} = \frac{2}{3}$ (秒後)のあと4秒後ごと、

イ... $6 \div 2 \times \frac{1}{3} = 1$ (秒後)のあと6秒ごとなので、重なることはない。

これより、円A上での重なりのみを考えればよいので、円A上のダイヤグラムをかいて考える。

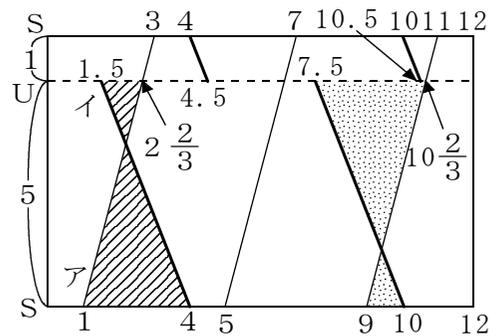
アがはじめてUにくるのは、出発してから、 $1 + (3 - 1) \times \frac{5}{6} = 2\frac{2}{3}$ (秒後)

斜線部分の相似を考えると、相似比 $(2\frac{2}{3} - 1.5) : (4 - 1) = 7 : 18$

よって、はじめて重なるのは、 $1.5 + (4 - 1.5) \times \frac{7}{7 + 18} = 2.2$ (秒後)

(別解) 1回目の重なりは、円B180度分、円C180度分、円A300度分の出会いと考えられるので、 $6 \times \pi \times \frac{180 \times 2 + 300}{360} \div (3 \times \pi + 2 \times \pi) = 2.2$ (秒後)

としてもよい。



7

(2) 網目部分の相似を考える。

アが3回目にUにくるのは、出発してから、 $2\frac{2}{3} + 4 \times 2 = 10\frac{2}{3}$ (秒後)
相似比 $(10\frac{2}{3} - 7.5) : (10 - 9) = 19 : 6$

これより2回目の重なりは、 $7.5 + (10 - 7.5) \times \frac{19}{19 + 6} = 9.4$ (秒後)

1セットで2回重なるので、4回目の重なりは2セット目の2回目。

よって、 $12 + 9.4 = 21.4$ (秒後)

(3) 1セットで2回重なるので、10分間では、 $60 \times 10 \div 12 \times 2 = 100$ (回)重なる。

(1) 右の図1のようになり、共通部分は太線部分の四角すい2個分となる。

四角すいO-HIKLの体積は、

$72 \times \frac{2}{3} \times 10 \times \frac{1}{3} = 160$ (cm³)

相似比 $1 : 2 \rightarrow$ 体積比 $1 : 8$ より、

求める体積は、 $160 \times \frac{1}{8} \times 2 = 40$ (cm³)

(2) 下の図2の太線部分の四角すいとなる。この立体を長方形CIKEが正面になるように見ると、図3のようになる。

ERとKIを延長したときの交点をSとし、相似を利用すると、 $OU : UI = 1 : 2$ 、 $OT : TK = 1 : 4$ となる。

四角すいO-HIKLを面OILで切り、2つの三角すいに分けて考えると、

求める体積は、 $160 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{5} + 160 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{5} \times \frac{1}{5} = 2\frac{38}{45}$ (cm³)

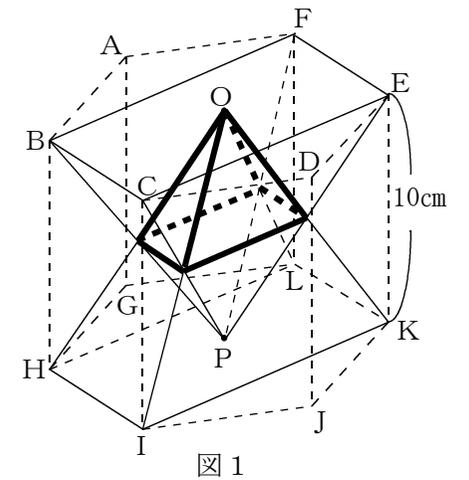


図1

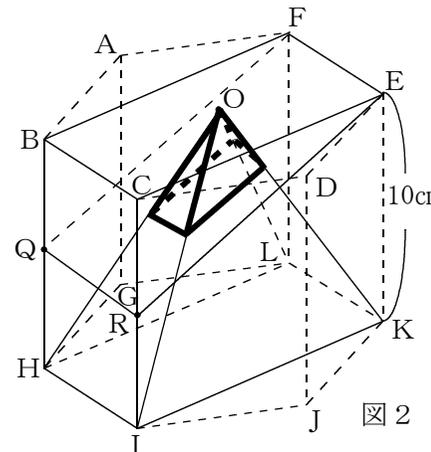


図2

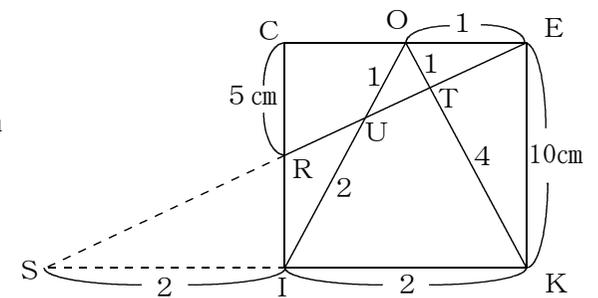


図3

(配点) ②; 各5点×8 他; 各4点×15